

第7章 家形石棺について

第1節 はじめに

古墳時代の墳墓には被葬者を埋葬する部屋があり、その中の部屋にはさらに被葬者を入れた棺が納められている。この棺は言うまでもないが死者を埋葬するために用いた容器である。この棺には色々な材質もの、形のものが現在までの調査で確認されており、既考古研究者により分類されている。材質では木製のもの、陶器のもの、石のものなどがある。形ではその材質や時期により異なる。形式では割竹形・舟形・箱形・長持形・家形などに大きく分類される。木製は現在も盛んに使用されている棺であるが、ほとんどの木棺は腐敗し、その痕跡だけでその作りは不明なところが多い。近年（平成5年3月）松山市梅本町の造成で発見された古墳時代後期の横穴式石室から完全な形で木棺2個が検出されており、その調査成果により明らかにされるものと思われるが、保存方法や発掘調査の方法などを検討するため、現在（平成5年4月）は一端埋め戻されている。陶器のものは被葬者が納まるように粘土を材料にした焼物で作る。石は加工がしやすい凝灰岩などの石材を利用し、丁寧に加工して製作したものである。このうちもっとも一般的なものは木棺と石棺である。初期の古墳は木棺のみであったが前期後半ごろになって石棺が出現する。以降両者が並行して用いられるようになる。そのなかの家形石棺であるが、この石棺形式を用いるようになったのは後期から終末期にかけてである。この家形石棺が中期の長持形石棺にかわって近畿地方などで主流となつたようである。しかし、九州地方では舟形石棺の影響をうけたもので、近畿地方と形態や性格を異にするといわれている。これは、6世紀以降、近畿地方と九州地方にそれぞれの文化圏が成立していったのではないかと思われる。また、第8表に掲載している古墳一覧表は「日本古墳大辞典」に掲載されている古墳で、そのなかから家形石棺が確認されている古墳を抜粋したものであるが、そのデータをみるとかぎりでは、近畿地方が約6割を占め、その中でも奈良県と大阪府がもっとも多い。これは、主要古墳が多いといえ、畿内政治勢力の中心であったことがいえるであろう。

第2節 家形石棺について

家形石棺は剝抜式と組合式の二種類である。「家形は蓋石の頂部にわずかの平坦面があり、四方に傾斜する形は四柱式の屋根の形を思わせるもので、この名がつけられた。古墳時代中期から後期にかけて発達したもので、新しい時期ものほど蓋石の頂部が平坦面で広い傾向がある」と分析されている。近年（平成4年）、考古学界で話題になった奈良県の見瀬丸山古墳の石室に安置されている2基の家形石棺がある。その石棺は剝抜式のもので蓋石にはそれぞれ縄掛突起があるが、蓋の厚さが違う。これまでの家形石棺の変遷では蓋石の形態の変化により時

期を設定している。それによると、「縄掛突起があり、厚みのあるものが古く、新しくなるに従い薄くなる傾向がある。」と指摘している。さらに「新しくなると縄掛突起がなくなり、より簡素化し、面取りしただけの蓋石になる。そして剝抜式の家形石棺がなくなり、組合式のものが主になる。」と編年されている。が、見瀬丸山古墳の家形石棺は奥石棺の蓋石が薄く、手前の石棺の蓋石が厚いのである。通常、埋葬されている石棺は奥が古く、手前の方が後から埋葬される石棺である。それが石棺の編年形態では奥の石棺が新しく、手前の石棺が古いということになり、論議になり話題になったのである。現在、見瀬丸山古墳は文化庁の管理下にあり、石室に埋葬された石棺の調査が無闇にできない為、その詳細については不明のままである。

さて、今までの家形石棺研究では、家形石棺の蓋石は6個の「縄掛突起」をもつものがふつうであるが、省略されたものもある。身は剝抜式の箱形を呈するものが多いが、板状にした5枚前後の石を組みあわせて作ったものである。棺身には縄掛突起がない。身の一辺の中央部が開口しているものを横口式石棺と呼んでいる。

全国的にみて、現在（「日本古墳大辞典」に掲載されている古墳）までに確認されている5世紀後半～7世紀前半の石室に埋葬された家形石棺は、石室内に残る小破片の石棺材からわかるものをいれて約74基の古墳で発見されている。そのうち型式が識別できたものは64基である。形式では剝抜式38基、組合式26基で剝抜式のほうが多い。近畿地方に存在する古墳でも同様のことが言える。しかし、大阪府の古墳は他の府県と逆である。芝塚古墳が存在する高安古墳群では石棺のある古墳が18基確認されており、うち家形石棺は9基である。形式での割合は剝抜式3基、組合式9基であり、組合式が半数以上を占めている。これは府下で発見された石棺にも言える。

第3節 芝塚古墳の家形石棺

芝塚古墳の石棺は、石棺Ⅰには縄掛突起がある石棺であるが、他の2基（石棺Ⅱ・石棺Ⅲ）にはない。各石棺の形態については調査成果で前述しているとおりであるが、石棺Ⅰの石棺形態は今までに確認されている組合式石棺と同様なものは確認されていない。その形態特徴について例をあげて比較してみると、蓋石につく縄掛突起は横2対・縦1対の計6ヶ所と横2対の計4ヶ所にあるのが通常で、突起は対で偶数になっている。しかし、石棺Ⅰの蓋石の場合は横3対に縦1ヶ所の計7ヶ所で、奇数である。また、片（北）側の小口の端には1対の突起がついている。これは長持形石棺にみられるもので、そのなごりが根強く残ったものではないかと考えられ、家形石棺の系譜を研究する上で良好な資料といえるだろう。さらに蓋石と蓋石の合わさる上に長方形の石材がつくことが整理段階でわかった。この石材について著者が調べた限りでは現在（平成4年）までに報告されている文献資料や発掘調査などにはこの石棺形態に

類似する出土資料はなく、芝塚古墳だけのもので非常に興味深いものがある。著者が思うには埋葬者を封印し、外界のものと切り放すために置かれた石と解釈し、この石を「封石」と仮称した。また著者が考えるには、芝塚古墳の石棺I・石棺IIが家形石棺の中でも特殊なものといえ、埋葬された被葬者の氏族がどのような氏族であったかが浮かびあがってくるであろう。

第10表 家形石棺出土一覧表

No	都道府県	古墳名	市町村	時期	石棺形式	石棺の材質
1	宮城県	一塚古墳	仙台市太白区	6前半	刳抜式	
2	山形県	菱津古墳	鶴岡市		組合式	
3	群馬県	宝塔古墳	前橋市総社町	7末	刳抜式	凝灰岩
4	群馬県	総社愛宕山古墳	前橋市総社町	7前半	刳抜式	凝灰岩
5	東京都	狛江龟塚古墳	狛江市	6初頭	組合式	
6	石川県	散田金谷古墳	羽咋郡志雄町		組合式	
7	福井県	龍ヶ岡古墳	福井市		刳抜式	凝灰岩
8	山梨県	馬乗山古墳	東八代郡境川村	5後半	組合式	
9	静岡県	丸山古墳	静岡市		組合式	
10	三重県	おじょか古墳	志摩	5後半	組合式	
11	滋賀県	円山古墳	野洲郡野洲町		刳抜式	
12	滋賀県	勝堂古墳	愛知郡	6後半	組合式	竜山石
13	滋賀県	甲山古墳	野洲郡野洲町	6世紀代	刳抜式	凝灰岩
14	京都府	岩滝丸山古墳	与謝郡岩滝町		組合式	?
15	京都府	温江丸山古墳	与謝郡加悦町			
16	京都府	物集女車塚古墳	向日市	6後半	組合式	凝灰岩
17	京都府	願興寺古墳	竹野郡丹後町		組合式	
18	奈良県	兜塚古墳	桜井市	5後半	刳抜式	
19	大阪府	唐櫃山古墳	藤井寺市	5後半	刳抜式	阿蘇溶岩
20	大阪府	湯山古墳	堺市		組合式	凝灰岩
21	大阪府	南塚古墳	茨木市		組合式	凝灰岩
22	大阪府	古市古墳	古市	5~6世紀		
23	大阪府	長持山古墳	藤井寺市		刳抜式	阿蘇溶岩
24	大阪府	清滝古墳	四条畷市	6中~後半	刳抜式	凝灰岩
25	大阪府	金山古墳	河南		刳抜式	凝灰岩
26	大阪府	御旅所北古墳	千早赤阪村	6末	組合式	凝灰岩
27	大阪府	お龜石古墳	富田林市	7初	刳抜式	凝灰岩
28	兵庫県	中山寺古墳			刳抜式	
29	奈良県	笛吹古墳	北葛城郡新庄町		刳抜式	凝灰岩
30	奈良県	与楽古墳	高市郡高取町	6後半	組合式	
31	奈良県	宮塚古墳	高市郡高取町	6前	刳抜式	
32	奈良県	水泥蓮華古墳	御所市	7前	刳抜式	
33	奈良県	見瀬丸山古墳	橿原市	6後半	刳抜式	
34	奈良県	藤ノ木古墳	生駒郡斑鳩町	6後半	刳抜式	凝灰岩
35	奈良県	東乘鞍古墳	天野市之木町	6前半	刳抜式	凝灰岩
36	奈良県	牧野古墳	北葛城郡新庄町	6末	刳抜式	
37	奈良県	市尾墓山古墳	高市高取町	5~6世紀	刳抜式	
38	奈良県	野神古墳	奈良市南京終町	5後半	刳抜式	凝灰岩
39	奈良県	西宮古墳	生駒郡平群町	7後半	刳抜式	
40	奈良県	赤坂天王山	桜井市	6~7世紀	刳抜式	凝灰岩
41	奈良県	新宮山古墳	御所市	6世紀代	刳抜式	竜山石
42	奈良県	墓古墳	桜井市	7前半	刳抜式	竜山石
43	奈良県	原狐塚古墳	桜井市	6~7世紀	組合式	凝灰岩
44	和歌山县	大谷山古墳	和歌山市	5後半~6	組合式	

No	都道府県	古 墳 名	市 町 村	時 期	石棺形式	石棺の材質
45	島 根 県	飯梨岩舟古墳	安来市岩舟町		刳拔式	
46	島 根 県	妙蓮寺古墳	出雲市		横口式	
47	島 根 県	御崎山古墳	松江市大華町	6 後半	組合式横口	
48	島 根 県	橋本古墳	島根市		刳拔式	凝灰岩
49	島 根 県	高広横穴古墳	安来市	6・7世紀	組合式	
50	島 根 県	大念寺古墳	出雲市	6 中		
51	島 根 県	鷺ノ湯古墳	安来市	6 後半	組合式	凝灰岩
52	島 根 県	刈山古墳	出雲市	6～7世紀	組合式	
53	島 根 県	岡田山1号墳	松江市	6 後半	組合式	
54	島 根 県	上島古墳	平田市国富町上島	6 前半	刳拔式	凝灰岩
55	岡 山 県	築山古墳	邑久郡長船町		刳拔式	
56	岡 山 県	宮山西塚古墳	岡山市		刳拔式	凝灰岩
57	岡 山 県	金子石塔塚古墳	総社市	6 後半～7	刳拔式	凝灰岩
58	岡 山 県	八幡大塚古墳	岡山市	6 中	組合式	
59	岡 山 県	江崎古墳	総社市上林字江崎		刳拔式	貝殻石灰
60	広 島 県	御年代古墳	豊田郡本郷町	7 前	刳拔式	
61	広 島 県	貞丸1号墳	豊田郡本郷町	6 末	刳拔式	竜山石
62	広 島 県	北塚古墳	福山市	7 前半	組合式	
63	山 口 県	大日古墳	防府市		刳拔式	凝灰岩
64	香 川 県	渋野丸山古墳	觀音寺市室本町		刳拔式	
65	福 岡 県	浦山古墳	久留米市上津町	5 後半	組合式	阿蘇溶岩
66	福 岡 県	綾塚古墳	京都郡勝山町中黒田	7 前半	刳拔式	凝灰岩
67	佐 賀 県	西隅古墳	佐賀市金立町		刳拔式	
68	熊 本 県	檜崎古墳	宇土郡不知火町			
69	熊 本 県	塚坊主古墳	玉名郡菊水町	6 前半	?	
70	熊 本 県	鴨籠古墳	宇土郡花園町	6 世紀代	刳拔式	阿蘇溶岩
71	熊 本 県	江田船山古墳	玉名郡菊水町		横口組合式	阿蘇溶岩
72	大 分 県	龜甲山古墳	大分市		組合式	
73	大 分 県	亀塚古墳	大分市坂ノ市	5 世紀代	組合式	
74	鹿児島県	宮ノ上地下式古墳	肝付郡吾平町	6 世紀代	組合式	輕石